

会長談話 「長期化も想定して緊急に対応しよう」  
～一社もつぶさない！全会員に声かけを！～

## 1. 会員のみなさんへ 一人で悩まないで、早急に経営計画の見直しを

新型コロナウイルス感染拡大による「コロナショック」が全国に広がり、かつてない経済危機を迎えています。消費増税で悪化していた業績にコロナショックが重なり、どん底に叩き落された感触を持つ経営者も少なくありません。

会員の皆さん、どのような状態に直面しても一人で悩まないでください。こんな時こそ不安なことや悩んでいることを仲間に相談しましょう。同友会の先達の知恵・実践に学ぶことが解決への早道です。事務局に、同友会役員に、ぜひ電話してください。

東日本大震災や自然災害に直面して奮闘してきた会員は「何もなくなった時こそ、経営者が覚悟を決める時。社員とともに次に打って出るための『武器』をつくろう」と訴えています。

今回のショックは、日本で感染が収束しても、世界規模での大きなダメージから長く経済が低迷することが想定されます。現状をしっかりとつかんで、社員と共に単年度の経営計画を見直し、金融機関にも協力を求めましょう。地域を守るのは私たち中小企業です。

この危機的情勢に的確に対応するため、会員のみなさんに以下の行動を呼びかけます。

## 経営者としてすぐに手を打つべきこと

困難な状況を打破する鍵は、まずは経営者として「絶対つぶさない、1人もやめさせない」と、経営改善に向けて覚悟を決めることです。現状認識を社内で一致させ、必要な情報の収集とすばやい行動、相談する仲間を持つことです。すぐに手を打ちましょう。

- ① **早急な資金手当て** 現段階から資金手当てを行うとともに、売上半減からゼロまで想定して少なくとも3カ月先までの損益計算書を作成し、対応を考えましょう。財務体質を強化し、月次で収支を合わせ、徹底した減量経営に取り組みましょう。
- ② **危機感の社内共有** 危機を乗り越えるために、社員と共に経営計画の再構築・見直しと顧客作りに取り組みしましょう。特に販売先を増やす取り組みをすすめてみましょう。
- ③ **会員間ネットワークの強化** 会員間ネットワークの強化に取り組み、人材、商品・サービスやノウハウ、顧客・取引先情報などを相互に生かす取り組みをすすめてみましょう。
- ④ **全社一丸体制** 社内で十分協議することでワークシェアも自主的に進められます。「中小企業における労使関係の見解」を読み返し、いまこそ全社一丸体制づくりに取り組みましょう。
- ⑤ **勇気を持って相談を** 同友会を活用しましょう。一人で悩まず勇気をもって相談してください。まず事務局や支部の役員に一報して下さい。自社を守ることは地域を守ることです。1社で解決できない問題を共に解決していきましょう。

## 2. 役員・事務局のみなさんへ 全会員に声をかけましょう！

同友会の活動が大幅に制限されてはいますが、電話や情報ツールで会員一人ひとりに声をかけることはできます。コミュニケーションを密にして、1社も潰さない構えで会員の経営危機対応に全力で取り組みましょう。

- ① 全会員に電話などで声をかけ、個別企業の現状をつかみ、励ましあいましょう。
- ② 情報ツール（WEB会議）を積極的に活用し、経営課題や悩みを出し合える機会をつくり、お互いの知恵を出し合い、解決方向が見いだせる環境づくりをしましょう。
- ③ さまざまな緊急施策が出されています。企業が取り組みやすいように、全ての施策と方法を分かりやすく広報していきましょう。
- ④ 専門家会員（税理士、会計士、弁護士等）の協力も得ながら、会として経営相談に応じられる体制をつくりましょう。
- ⑤ 地域経済・社会を守る取り組みを、自治体や金融機関、他団体にも呼びかけて進めましょう。

不安や悩みは尽きないと思いますが、経営者として覚悟を決め、絆を深め、共にこの危機を乗り越えましょう。経営者も社員、家族みなさんも健康管理に一層ご留意ください。